

岡本眸の春の句

姿見に春暁の雨気流れけり
初花や雨光りつつ筋なさず
身を反らしづめ囀のただ中に
水飲んで春の夕焼身に流す
春の夜の心満ちくる故知らず

松岡隆子 抽